

高齢者「区民税が8倍に!？」

— 高齢者から怒り殺到 —

6月に入って送られてきた区民税の通知を見て、高齢者から「収入が上がってないのに税金が4倍だ!」「8倍だ!」と驚きの声。年金給付額は削減され税金や国保料だけが上がる…。原因は、自民・公明が強行した税制改悪です。庶民には負担増、米軍基地強化には3兆円の税金投入—こんな「痛み」だけの「改革」に怒りが広がっています。

住民税が上がれば
介護保険料や国保料も…。
負担はまさに「雪だるま」



施設調査しました

写真は駕籠町小のトイレ。予算なしで苦肉の策ですが、あまりに可哀そう。区教委に緊急の改善を要求しました。

昭和小では、改築間もない校舎や敷地にキ裂やかん没が発生し、地下防災備蓄庫に雨もりが起きていることが判明。至急の原因究明と改修を要求しました。駕籠町育成室は単独育成室で、現在41名の児童が放課後すごしています。20年程模様替えもなく狭くボロボロ。せめて半年ごとの畳替えと、裏に砂場を等要望が出ました。

貴重な公園廃止するな!

次々と公園廃止を打ち出す文京区。地域に愛され、桜の巨木が囲む新大塚公園、カスケードなど文化財的価値をもつ元町公園。地元も守れと運動。

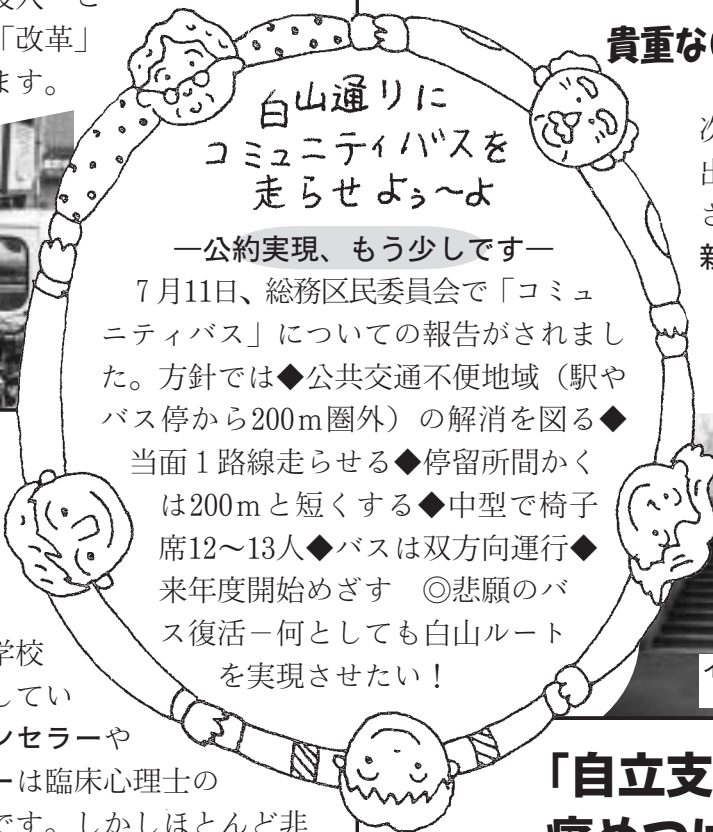


イタリアルネッサンス様式の元町公園

白山通りに コミュニティバスを 走らせようよ

— 公約実現、もう少しです —

7月11日、総務区民委員会で「コミュニティバス」についての報告がされました。方針では◆公共交通不便地域(駅やバス停から200m圏外)の解消を図る◆当面1路線走らせる◆停留所間かくは200mと短くする◆中型で椅子席12~13人◆バスは双方向運行◆来年度開始めざす ◎悲願のバス復活—何としても白山ルートを実現させたい!

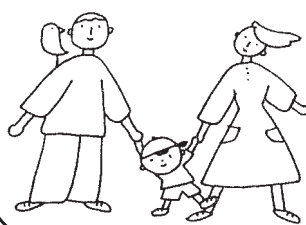


女性 非常勤職員にも産休保障を!

幼稚園や保育園、学校で子育て相談活動をしている、子育て支援カウンセラーやスクールカウンセラーは臨床心理士の資格をもった専門職です。しかしほとんど非常勤職員で支えられていることをご存知でしょうか。

子育ての経験が特に生きる職種なのに、産休や育休の保障もなく、働き続ける条件整備が遅れているのは問題です。共産党が少子化委員会と文教委員会で指摘し、区は「非常勤職員の労働条件の改善を早急に検討する」と答えました。

非常勤労働が増えている中、次世代支援対策推進法の具体化を、常勤・非常勤の別なく促進させていきます。



「自立支援法」で障害者 痛めつけられる

本駒込6丁目の通所施設。「自立支援法」で、補助金が日割り計算方式になり、経営難になった。特にうつ病等の精神障害の場合、さまざまな要因で来れなくなると、通所した人の分しか報酬が出ない。実は、来れない人のケアこそ重要で、安否確認に走り、投薬管理をし、救急車に同乗する等は一切勘案されないので経営困難に。法改定の不安で病気悪化する等大変な事態。



豊島区の知的障害者入所施設にて

2006
夏号

こうだ久美子の 区議会レポート



議員控室
☎5803-1317 (FAX) 3811-3197
http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/
kouda@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

文京区千石2-43-11
☎3946-2218 (FAXも)

日本国憲法の完全実現—そんな社会を目指して力を尽くします。

区立小中 統廃合計画説明会場で意見噴出!

- 文京の教育の何が問題で、何が課題か等全く分析なく、建て物の統廃合計画のみで「教育ビジョン」になっていない。
- 一方で小中一貫、中高一貫を良とし、他方で小学校を分断(誠之・窪町小)は矛盾。
- 800人のうち400人が越境入学の誠之等、指定校変更(越境入学)を制限すれば「分校」不用だ。
- 結局、小規模校を廃止して大規模校作りの計画だ。
- 通学区域変更は「100年の歴史を覆す」と拒否しながら、統廃合では通学区域変更するのは矛盾だ。
- 中央大附属高と三中の一貫校は内容が不明。中央大学の用地拡張策でないと言いきれるか。
- 小規模校のメリット、大規模校のデメリット等、具体的分析なしに単学級は悪とする計画は正しくない。
- 誠之小・窪町小の「分校」化は安全等あまりに問題多い。
- 駒本小は学区を3つに分断されて悲劇だ。
- 50年、100年計画と言いつつ、「10年以内に30人学級は想定しない」という判断でいいのか。
- 1000人規模等の大規模校を作るのではなく、通学区域の見直しで、中規模校化の方が望ましい。
- 230億の統廃合費用はムダ使いだ。



長野県で三十人学級を視察するこうだ区議(後ろ中央)

等々、賛成意見はほとんど聞かれず、どこの会場でも小規模校・大規模校のメリット・デメリットや誠之・窪町小の「分校」計画がくり返し議論になっていたのが特徴でした。

明化・林町小・十中の小中一貫校化について

◆十中に校舎、林町はグラウンド明化は第二グラウンド構想は見直しを。◆明化小のアーチ型校舎を文化財として保存し、明化側に小学校校舎を◆幼・小の連携を保つべき◆小中を同一校舎にするのは、様々な点で安全性に懸念ある。小中は校舎を分離して、連携を=等に意見は集約されるのではないのでしょうか。これらを汲んだ見直しを図るべきです。

昭和小と駕籠町小の統廃合計画について

◆昭和小のさらなる大規模化は問題◆駕籠町小を残して◆駕籠町児童増えている。どの子もイキイキしている。◆大規模校は横のつながりだが小規模校は上級生との関係も深くなる。◆兄は大規模校だったが、弟達は駕籠町に入れた方がいいと言う◆小規模校のメリットがいっぱい語られたことを区に持ち帰って=等小規模校教育に確信と信頼を寄せた意見が全部であった。

今後の方向について

◆駒本小PTAからは7月11日付で素案の撤回を求める「意見書」が出されました。説明会では「素案」への賛成意見はほとんど出ていない状況です◆区教委は①区民意見の募集を9月末日まで延長する②今後保護者アンケートを行うことを明言しています◆「素案」は撤回し、区民意見に基づいて抜本見直しするしかありません。

(中面に関連記事)